

■運営委員会 委員長: 中川恭彦(山梨大) ■運営委員会幹事会 代表: 渡辺好章(同志社大) 副代表: 櫛引淳一(東北大),酒井啓司(東大)
■幹事会委員: 上羽貞行(東工大),梅村晋一郎(東北大),金井浩(東北大),黒澤実(東工大),香田忍(名大),小島誠治(筑波大),斎藤繁実(東海大),崔博坤(明治大),椎名毅(京都大),中川恭彦(山梨大),中村健太郎(東工大),野村徹(芝浦工大),蜂屋弘之(東工大),松川真美(同志社大),山口正恒(千葉大),山田晃(農工大),山中一司(東北大),橋本研也(千葉大),水谷孝一(筑波大),若月昇(石巻専修大)
■実行委員会 委員長: 山中一司(東北大) 副委員長: 崔博坤(明治大) ■委員: 荒川元孝(東北大),小原良和(東北大),金井浩(東北大),櫛引淳一(東北大),黒澤実(東工大),酒井啓司(東大),坂本眞一(滋賀県立大),辻俊宏(東北大),土屋隆生(同志社大),中村健太郎(東工大),松川真美(同志社大)
■論文委員会 委員長: 橋本研也(千葉大) 副委員長: 酒井啓司(東大) ■委員: 秋山いわき(湘南工科大),梅村晋一郎(東北大),大野正弘(千葉工大),荻博次(阪大),金井浩(東北大),鎌倉友男(電通大),工藤すばる(石巻専修大),工藤信樹(北大),黒澤実(東工大),近藤淳(静岡大),崔博坤(明治大),斎藤繁実(東海大),椎名毅(京都大),竹内正男(玉川大),土屋健伸(神奈川大),中村健太郎(東工大),蜂屋弘之(東工大),原田明(九州大),疋田光孝(工学院大),広瀬精二(山形大),松岡辰郎(名大),松川真美(同志社大),水谷孝一(筑波大),守本純(防衛大),安井久一(産総研),山田晃(農工大),山田顕(東北学院大),山中一司(東北大),Oliver B. Wright(北大),渡部泰明(首都大学東京)
■運営委員 青柳学(室蘭工大),足立和成(山形大),浅田隆昭(村田製作所),安達正利(富山県立大),阿部洋(NECトキン),石井孝明(山梨大),伊藤洋一(日大),井上浩(秋田大),今野和彦(秋田大),岩瀬良一(海洋研究開発機構),宇野武彦(神奈川工大),遠藤信行(神奈川大),大平悦三(桐蔭横浜大),岡崎正喜(日本電波工業),岡林一郎(パナソニック四国エレクトロニクス),小倉幸夫(ジャパンプローブ),越智寛(海洋研究開発機構),片倉景義(工学院大),門田道雄(村田製作所),鎌田弘志(沖電気工業),神山直久(東芝メディカルシステムズ),唐澤弘行(富士フィルム),狩野旬(筑波大),川島捷宏(東京工科大),川村洋平(筑波大),菊池恒男(産総研),菊池年晃(防衛大),金茂俊(Pukyong National Univ.),小池義和(芝浦工大),小柴正則(北大),小島義弘(名大),小塚晃透(産総研),小林和人(本多電子),後藤信夫(徳島大),小山清人(山形大),近藤隆(富山大),西條芳文(東北大),齊藤史郎(東芝メディカルシステムズ),齊藤晋聖(北大),佐藤雅弘(富山大),塩川祥子(SAW&SPR-Tech),塩寄忠(芝浦工大),実森彰郎(鳥取環境大),菅原澄夫(石巻専修大),矢野猛(阪大),須崎琢而(堀場製作所),高田啓二(関西大),高野剛浩(東北工大),高橋貞行(アプライド・マイクロシステム),竹内真一(桐蔭横浜大),竹中正(東京理科大),田中肇(東大),千原國宏(奈良先端大),沈青(電通大),辻内亨(産総研),土屋隆生(同志社大),鶴ヶ谷芳昭(日本電気),長康雄(東北大),得永嘉昭(金沢工大),戸田耕司(東京都市大),豊田太郎(電通大),直井純(海洋研究開発機構),中川誠司(産総研),中曾教尊(凸版印刷),中田穂積(大真空),中村敏明(防衛大),中本高道(東工大),西野秀郎(徳島大),西森靖(古野電気),新田尚隆(産総研),河康烈(Pukyong National Univ.),橋本雅彦(パナソニック),橋本芳樹(ワイディー・メカトロソリューションズ),羽田野甫(東京理科大),林茂雄(電通大),原田久志(明星大),原田烈光(アロカ),平尾雅彦(阪大),寶川幸司(神奈川工科大),星宮務(東北学院大),細川篤(明石高専),増田健太郎(スミタ電機),増山裕之(鳥羽商船高専),松中敏行(大阪府大),美宅成樹(名大),美谷周二郎(東大),三留秀人(産総研),南出章幸(金沢工専),三原毅(富山大),三竹毅(日立メディコ),宮下豊勝(龍谷大),山越芳樹(群馬大),山田純(日立),山本健(関西大),山本弘(日立建機),山本満(日本電気),山本泰司(日本電波工業),吉岡正裕(産総研),若槻尚斗(筑波大),若月昇(石巻専修大)
■顧問 大谷隆彦,尾上守夫,岡野光治,川端昭,清水康敬,高木堅志郎,中鉢憲賢,辻野次郎,富川義朗,永井啓之亮,中村昭,中村信良,根岸勝雄,野村浩康,畑朋延,森森司,山之内和彦

シンポジウム開催期間 11月18日(水) ～ 20日(金)

講演申込み締切	7月 31日(金)
論文集原稿(A4×2頁)締切	8月 21日(金)
講演者参加申込・支払締切	10月 2日(金)
参加費事前割引支払締切	10月 30日(金)
JJAP論文特集号原稿締切	11月 24日(火)

シンポジウム会場

同志社大学今出川キャンパス 寒梅館

〒602-8580 京都市上京区今出川通り烏丸東入
http://www.doshisha.ac.jp/access/ima_access.html

○地下鉄「今出川」駅から徒歩1分 ○京阪「出町柳」駅から徒歩15分



この時期の京都は観光のハイシーズンです。
ホテル等の早目のご予約をお勧めします。

The 30th Symposium
on
Ultrasonic Electronics
**USE
2009**
November, 18-20, 2009
Kyoto, Japan
Kanbai-kan, Doshisha University



期 間: 平成21年11月18日(水)～20日(金)
会 場: 同志社大学今出川キャンパス 寒梅館
<http://use-jp.org>

第30回 超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウム

主催: 超音波シンポジウム運営委員会
共催: 応用物理学会

協賛: 映像情報メディア学会/海洋音響学会/精密工学会/超音波工業会/電気学会/電子情報通信学会/
日本音響学会/日本化学会/日本学術振興会弾性波素子技術第150委員会/日本機械学会/
日本金属学会/日本生体医工学会/日本超音波医学会/日本非破壊検査協会/日本物理学会/
日本分光学会/日本分析化学会/日本分析機器工業会/IEEE UFFC Society Japan Chapter

本シンポジウムは、超音波に関する各分野の基礎から応用に携わる研究者の学術交流の場を提供することを目的に、1980年12月に第1回が開催されました。以来、毎年超音波に関する最新の研究発表と討論が行われ、今回で30回目を迎えます。その間、応用物理学会英文誌JJAPの特集号としても巻を重ねました。最近では、英語セッションの開設、ポスターセッションの完全英語化など国際化が進んでおります。また、論文賞および奨励賞の創設、既発行講演論文集のOnline化も行っています。

記念すべき第30回のシンポジウムは京都市内の同志社大学寒梅館で開催します。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

第30回超音波シンポジウム運営委員長 中川恭彦

■超音波シンポジウム論文賞

本シンポジウムで発表し、さらに、Japanese Journal of Applied Physicsに論文として公表された超音波に関する研究成果であって、科学と技術の発展に顕著な貢献が期待されるものを選定し、超音波シンポジウム論文賞(Symposium on Ultrasonic Electronics: Best Paper Award)を贈呈します。

■超音波シンポジウム奨励賞

本シンポジウムにおいて優れた口頭発表またはポスター発表を行った第一著者かつ登壇者(ポスターの場合は発表者)で、シンポジウム開催翌年(今回は2010年)の3月31日で満37歳以下の方を対象として、超音波シンポジウム奨励賞(Symposium on Ultrasonic Electronics: Young Scientist Award)を贈呈します。意欲ある優秀な研究者は講演申し込み時に申請してください。

両賞とも授賞式は次年度のシンポジウムで行ないます。

論文募集分野

1. 超音波物性、材料、フォノン物理、光超音波エレクトロニクス
2. 測定技術、映像法、非破壊評価
3. 圧電デバイス(バルク波デバイス、弾性表面波デバイス)
4. 非線形、強力超音波、ソノケミストリー
5. 医用超音波
6. 水中音響

JJAP特集号論文投稿について

(Web投稿先は講演採択者にお知らせします。)

論文委員長 橋本 研也 (千葉大)

【論文関係問合せ先】 program@use-jp.org

千葉大学大学院工学研究科 大森達也

Tel: 043-290-3318 Fax: 043-290-3320

仙台共同印刷(投稿Webサイト技術サポート)

Tel: 022-236-7161 Fax: 022-236-7163

■講演申込(7月31日(金)まで) USEホームページから申し込んで下さい。この申し込みデータは論文委員会において採否決定に使われます。【英語セッション】は英語で発表、討論を行うセッションです(講演論文原稿も英語)。みなさまの積極的な参加をお待ちしています。本年度も、ポスターセッションは英語にて行います。また、超音波シンポジウム奨励賞の申請者は講演申込とともに申請登録を忘れずに行ってください。

■講演論文集の原稿(8月21日(金)まで) 文字化けを防ぐためdoc, pdf形式の両方をホームページからご提出下さい。執筆要綱、テンプレートもホームページをご参照下さい。過去の講演論文集はUSEホームページから閲覧することができます。講演論文は、シンポジウム終了後、翌年4月ごろにホームページに公開し、国立情報学研究所データベースCiNii(<http://ci.nii.ac.jp/>)に提供します。このことに支障のある方は、原稿提出時にお申し出下さい。インターネットを利用できない方など不明な点はお尋ね下さい。

■講演採択の決定 論文委員会で審査を行い、採否と発表形式(口頭・ポスター)を決定します。採択通知は9月中旬以降に電子メールで講演申込者に配信予定です。

■講演者の参加申込・支払および講演登録料支払(10月2日(金)まで) 講演原稿が採択された講演者は、必ず期限までに参加申込を済ませ、参加費および講演登録料(1件5,000円)をお支払い下さい。

■JJAP特集号論文の原稿(11月24日(火)まで) 講演が採択され、USEにて発表した方はJJAP(Japanese Journal of Applied Physics)特集号に原著論文を投稿することができます。通常号と同様の査読プロセスにより採否を決定します。投稿はWebで行いますが、投稿先URL、投稿要領はシンポジウム講演の採択通知時にお知らせします。

USEホームページ <http://use-jp.org>

USE懇親会

日時: 11月19日(木) 夕刻

会場: 同志社大学今出川キャンパス 寒梅館

会費: 一般 6,000円 学生 4,000円

総合問合せ先

実行委員長 山中 一司 (東北大)

【総合問合せ受付】 steering@use-jp.org

東北大学 大学院工学研究科 小原良和

Tel: 022-795-7359 Fax: 022-795-4298

■参加申込 参加される方はUSEホームページ上でアカウントを取得し、作成されたマイページ上からお申し込み下さい。参加費は下記のとおりです。懇親会費、講演登録料も支払えます。専用の郵便振替用紙を用いて参加者一人ずつ参加費等を送金してください。所属機関から送金される場合は、振替用紙に参加者ご本人の氏名を明記して下さい。

郵便振替口座番号: 02290-4-53795 加入者名: 超音波シンポジウム
ホームページからの参加申し込みは会期前日まで可能ですので、できる限り申込を済ませてから会場にお越し下さい。また、10月30日(金)までに参加費を送金される場合は割引価格が適用されますので、早めの申し込み、お支払いをお勧めします。それ以降は会期当日、現金でお支払い下さい。

■参加費 10月30日(金)までの割引価格: 15,000円(一般) 5,000円(学生)
10月31日(土)以降の価格: 17,000円(一般) 6,000円(学生)

講演者につきましては、10月2日(金)までに参加費・発表講演登録料のお支払いがない場合は、講演を取り消させていただきます。一般参加費には講演論文集とJJAP特集号1冊(刊行後送付)の代金が含まれますが、学生参加費にはJJAP特集号は含まれません。当日欠席の場合は後日、論文集を郵送します。なお、JJAPを定期購読されている一般の方は、事前申込み13,000円、当日申込み15,000円となります。また、今回一般参加申込みをされた方には次回のシンポジウム案内を差し上げる予定です。